常磐毎日
発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
電(代表)2104番
2105番

会津漬酒・うまい酒
稲川
稲川酒造店吟醸
福島県指定代町字新町

恵ぐまれた天然の景勝
五年計画で公園化
水戸しのぐ観梅の名所に

【写真は梅林公園としてう出される専称寺の梅】

専称寺の梅林

平市夏井の梅福山専称寺の梅林は　三月中旬に満開となるが、宣伝がされていないため　観梅に訪れる人も少ない。　このため市観光課では「専称寺梅林公園」を新市町村建設五カ年計画で完備する一方、　新観光地として宣伝、　水戸偕楽園をしのぐ梅の名所として観梅客の誘致に本腰を入れることになつた。

専称寺は夏井字山崎、平駅から東方に約四キロの地点にある。応永二年の開基で、延徳二年後土御門天皇の勅願所となり、奥州総本山の名をもち、赤井岳専福寺に次ぐ名刹（さつ）である。約三万三千平方メートルの境内に二千五百のウメが所狭しと植えられて、二月下旬にはじめはじめ、三月中旬には満開となり、遠望は薄桃一色に塗りつぶされる。しかしこの絶景はいままで宣伝されたことがなく氷山の一角に埋き忘れられたごとく、梅の名所であるこの専称寺で観梅する人は例年数える程度だった。

こうしたことから数年前の市園会である鍋屋から梅林を広く紹介、観客をはかつて松が岡公園に次ぐ梅の植えすべきだとの声が持ち上った。このため観光課が中心となつて計画を練られたものの予算などの関係から計画倒れに終つていた。

この矢先、新市町村建設五カ年計画が樹立されたのを機会にして観光課で「史跡保存梅林公園」の名称で計画書に載せ、梅林の保存をはじめることになつたもの。

梅林は現在常磐線沿線では水戸の偕楽園が全国的に知られているが、専称寺も地理的に恵まれているので宣伝しだいでは水戸をしのぐ「梅の名所」になると市観光課でも梅々対策を練つているが、細部計画が立案されれば逐り一回一の梅林の名所となり、観光開発に一役かうものと大きな期待がかけられている。

市観光課の話　「専称寺の梅は見事なものだ。しかし宣伝がされていないため　観梅客も少い。駐車場は現在のところ二百台収容できるが、将来は五百台収容の計画である。今年度新市町村建設五カ年計画の中に梅林公園化を織り込んだが、交通の便もよい。　このため市観光課では「専称寺梅林公園」を新市町村建設五カ年計画で完備する一方、　新観光地として宣伝、　水戸偕楽園をしのぐ梅の名所として観梅客の誘致に本腰を入れることになつた。

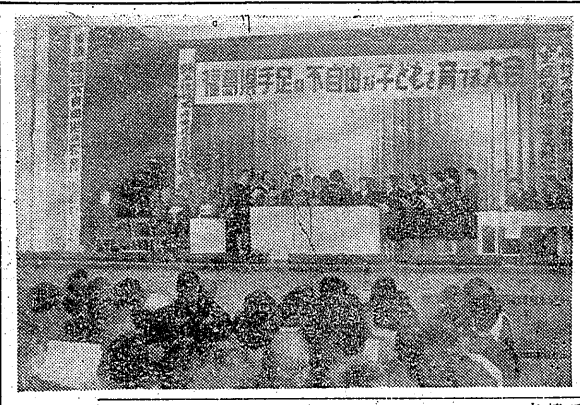
優良商店を表彰
十一日四倉町商工会

四倉町商工会では第二回サービスコンクールの入賞式を十一日午前九時から四倉町役場会議室で行うが、同日午前十一月に全国商店サービス月間中に同町内七十軒からの商店の綿密な診断を行つたもので次の優良商店を表彰する。

▼新町＝近藤菓子店、国川商店、豊田農業菓子店、加藤呉服商店▼なぎ＝食料品店、あまざけや呉服店▼仲町＝紙屋呉服店、鍋屋酒店、寺岡商店、スズヤ電気商会、丸伊文具店、凡市魚店、円谷文具店、いわきや商店、村田下駄店、菅野商店、東京屋食品店、松や洋品店▼本町＝つるや食品店、水野や菓子店。

なお当日はこれら二十軒の商店に対して商工会（会長新妻常吉氏）から記念盾として腕時計が贈られる。

養護学校の設立を促進
手足の不自由な子を育てる大会
きょう移動県庁でも強く要望



県立肢体不自由児の養護学校を早急に設置されたいというスローガンをかかげる県手足の不自由な子ども育てる大会は同連合会、県

【写真は手足の不自由な子ども】

肢体不自由児協会、各市町村共催で五日午後一時から内郷市公会堂で日本肢体不自由児連合会会長、倉持厚生部長、県会議員など関係者六百人を迎えて開かれた。

大会は磐城第一女子商校生による肢体不自由児の歌を合唱で幕をあけ岩川平敏常大会委員長沼田一夫県肢体不自由児協会副会長松間司氏のあいさつについで来賓祝辞、同協会業務報告、肢体不自由児親の会代表アピールのあと、特殊生活のなかにあつて手足の不自由なことをたちの支援をおしまないで救われなければならない。こうした家族の苦悩はもとより恵まれた学校生活をおくることもできず、就職して社会の人としていきなり放置されていることもたちは増えるばかりである。最近特殊教育の充実振興策

由児職業補導所の設置を決議、記念講演として厚生省教科調査官伊藤忠一氏の「体不自由児の教育」についてと大河内一郎氏がつくつた「あすを待つ子どもたち」という題の時別写真会が行われた。

宮小の二月行事決まる

学校の二月行事予定表は次のとおり。▽五日給食実施▽八日学芸会プロ注文▽十日学芸会（予備日）▽十三日ミリ映画技術研究会▽十五日朝礼▽十七日学芸会（父兄）▽十八日学芸会（父兄）▽二十日児童貯金▽二十二日教職員研究物搬入、算数、理科校内研究会▽二十三日父母学級、教職員研究物展示参観会▽二十五日石城地区国語教育研究会開催▽二十六日教職員研究物総括▽二十七日朝礼▽二十九日展覧科校内研究会

公務執行妨害など
きのう判決公判四件

肢体不自由児の歌を合唱で幕をあけ岩川平敏常大会委員長沼田一夫県肢体不自由児協会副会長松間司氏のあいさつについで来賓祝辞、同協会業務報告、肢体不自由児親の会代表アピールのあと、特殊生活のなかにあつて手足の不自由なことをたちの支援をおしまないで救われなければならない。こうした家族の苦悩はもとより恵まれた学校生活をおくることもできず、就職して社会の人としていきなり放置されていることもたちは増えるばかりである。最近特殊教育の充実振興策

【写真は手足の不自由な子ども】

福祉職員
の講習会

五市七町村共催の福祉職員講習会は十五日午前十時から内郷市役所会議室で関係者約十人が集つて開き、身体障害者に対する福祉法などを研究する。

裁判所だより

▼四倉町吉野鈴木登木登（三）巡査から時計を持ち去られたいからと同島津一郎（三）にかかる窃盗事件の判決公判は、五日午後一時から地裁平支部で開かれ、鈴木裁判長から懲役十カ月（鈴木）同八カ月（島津）執行猶予三年が言い渡された。

鈴木と島津は酒に酔つて昨年十二月十四日午後六時半ごろ平市田町地内の路上で通行人の時計は何時かと聞いたところ同巡査から時計を持ち去られたとして〝警察が時計を持つているからいから判らないと答えられたのに対して〝警察が時計を持つていないとはなんだ、警察のくせに生意気だ〟といいがかりをつけ今にも殴りかかるような態度で詰め寄つて来るので、平静に保護しようとして両人をなだめたが〝警察がなんだ〟とつかまえようとしているうち同巡査の腰の警縄に手をかけたので、これを払い除けた瞬間に指輪をかけていた（鈴木）の左手が同巡査の顔面を殴り左眼一週間の傷を与えた上に島津が同巡査の腕元をつかんで押したもの。

▼平市田町鎌原位（三）にかかる窃盗事件の判決公判は五日午後一時から開かれ、鈴木裁判長から禁固三月、執行猶予二年を言い渡された。

被害は昨年四月三十日午後十時四十分ごろ同二丁目原町線付自転車を道路して常磐市方面から平市に向つて国路の左端（南側）を時速四十五キロを出し疾走し、内郷市役町大木付近の道路にさしかかつた際、約三十六メートルの前方を歩いていた内郷市綴町の沼尻、会社員鈴木孫蔵さん（三）に体当たりの通行人をはね飛ばした。このため鈴木さんに頭部打撲傷過傷と右下腿骨折の全治四カ月の重傷を負わせたもの。

▼内郷市宮町鬼ケ沢二〇採炭夫斎藤竹夫（三）にかかる詐欺事件の判決公判は五日午後から地裁平支部で開かれ、鈴木裁判長から懲役八カ月、四カ年の執行猶予が言渡された。

斎藤は去る三十三年四月十五日午後九時ごろ内郷市役所内の〝ひるみ食堂〟こと佐谷ヤツさん方店舗で代金を支払う意志と能力がないのに女給をだましてビール五本（時価九百十円）を飲んだのを手はじめに同日午後十時ごろ同市金坂〝飲食店〟通称〝ど仁々木娘〟子さん方において酒肴を注文してビール三本（時価四百八十円）と昨年四月十四日午後九時ごろ同市綴町岩堀八一の一〝都食店〟こと内谷トメさん方で銚子一本時価一千円）をだまし飲んだもの。

▼内郷市綴町鍋渕六、自雇大野勝（29）にかかる強盗致傷事件の判決公判は五日午後一時から地裁平支部で開かれ、鈴木裁判長から懲役六月、執行猶予二年を言渡された。

大野は昨年十二月十八日午後十一時ごろ常磐市湯本字三函地内キャバレー〝クラウン〟こと鈴木光子さんの店内で、飲酒中の大川正宏さんと大野が結婚を申込んで交際中のバー〝モナミ〟の女給をめぐつて口論の末、大野が大川さんに対して「大川出て来い」と脅迫したもの。

試験地獄かん和に
校長会で高校を一つ増やせ
要望

石城地区中学校長会（会長松本茂康氏）では六日午後一時から平市公会堂で開かれた校動県庁平第一中学校長鈴木光四郎氏ら代表して、高校入試地獄を緩和するため石城地方に県立高校の二校増設をしてほしい。また一カ月後にせまつた三十五年の入試には昨年同様一〇%の定員の増加を認めてほしいと要望書を提出した。

それによると三十四年度の傾向をみると石城地区公私立高校に対する全通学区域（双葉・双葉・田村の一部を含む）よりの志願者数は四千八百八十人で、これに対する募集定員は臨時増募を含めて三千四百九十人で、全志願者の約三分の一が進学できない状態である。

また三十五年度の志願者数は四千二百人を数られ収容定員三千九百人に比べ不合格者は一千三百人に及び、かつての試験地獄を再現するというもの。要望事項は次の通り。

❶石城地区に高校を一校増設❷湯本、勿来、小名浜各校に各一学級を増加❸磐城、磐女、平商、平工、四倉、内郷各校には三十四年度の臨時増募を恒例化する。

（写真は感謝を受ける子供たち）

喜び大きな児園
イカメシイ署長さんの慰問に感謝

かれたが、大会まえに平地区防犯協会連合会の防犯会長、大泉副会長、菅野平署長、渡辺防犯係長の四人は同日午前十時から慰問のため児童に感謝を受けた。

平市平窪にある〝ばら〟施設＝大河内一郎園長＝には小児マヒ、脳性マヒ、先天性股関節脱きゅう、外傷などの病気で手足の不自由な児童（十三才から十八才）百人が収容されており、温泉やマツサージによる治療を受けながら将来の生活に必要な職業能力を受けている。

一行は園内の説明をきいたあと園内の手洗たちを慰問われたが、市長さんやはじめてみる署長さんのあいきょうぶりに子供たちは大喜びだった。

このあと感謝団は施設の調を訪れ、タバコや菓子を置くつたが、八日は同所で防犯懇談会を行う。

平の質屋に強盗
平署スピード逮捕

平署は五日午後四時四十分ごろ平市四丁目一九番野質店こと品野康治さん（六〇）方表玄関から入り、応接に出た康治さんに短ナイフを突きつけ「有金をだせ」と申し出たが証明書がなかつたため断られた。強盗はやにわに腹部にかぶりつき手腕の力握り十二センチのあい口を突きつけておどかしたが、康治さんが逃げ出して騒ぎ出したため何にもとらずに逃走した。同店出入を受けた平署はまもなく現場近くの路上で強盗犯人を逮捕した。

商業は五日午後零時四十分ごろ平市四丁目一九番野質店こと品野康治さん（六〇）方表玄関から入り、応接に出た康治さんに短ナイフを突きつけ「有金をだせ」と申し出たが証明書がなかつたため断られた。強盗はやにわに腹部にかぶりつき手腕の力握り十二センチのあい口を突きつけておどかしたが、康治さんが逃げ出して騒ぎ出したため何にもとらずに逃走した。同店出入を受けた平署はまもなく現場近くの路上で強盗犯人を逮捕した。

カラッ風日和
水道を引いて欲しい

平市北白土の久田定男さん他数十六人はこの低い地区の飲料水を井戸水を利用しているが、水質が悪く困つており水道にしてほしいと陳情した。

魚菜市況

（単価キロ円）

ヤネ（小）	一一〇	一二〇	一三〇
マアブラナ（一把）	一三〇	一五〇	一八〇
マクワシ	一三〇	一五〇	一七〇
マタマナ	二五〇	三〇〇	三三〇
マシヤガイモ	八〇	八〇	八〇
マ丸ダイコン	八〇	八〇	八〇
マホウレン草	二〇〇	二三〇	二五〇
マサトイモ	一八〇	二〇〇	二二〇
マサツマイモ	一三〇	一五〇	一八〇
マニンジン	一〇〇	一〇〇	一〇〇
マカブ	二〇	二〇	二〇
マゴボウ	五五〇	六〇〇	六五〇
マキリイモ	一八〇	二〇〇	二二〇
マシンギク	一五〇	一八〇	二〇〇
マミズナ	一〇〇	一二〇	一四〇
マシイタケ	三〇〇	三五〇	四〇〇
マダイコン	一本	一本	一本
マキウリ	一七〇	一七〇	一七〇
マリンゴ	一四〇	一四〇	一四〇

今晩、北または西の風たいたい晴
明日、北一時雨の風、晴れたり曇ったり
沖上、今晩多少風波ある程度
明日やや風波高くなる
天気予報

こけしの千趣会
会員募集
月百円の会費で週間誌「平凡」でおなじみの千趣会の美しいこけしが毎月あなたのお手許へ配品になります　また楽しい話と「こけしの友」が毎月送付されてあります
お申込場所は化粧品部です
平市三丁目
二幸
電話四九三一三

お客様にお願い
毎度お引立に預り有難く御礼申し上げます
このたび平店の閉店につきまして時に御迷惑をおかけ致しますに対しましては、左の通り滞なく致しますに対しましては、左の通り滞なく致しますに対しましては、左の通り滞なく

農業実践大学
15日から平公会堂
NHKローカル番組

石城地方町村農協合理化組合連合会主催の第八回農業講座実践大学講座は来る十五日から五日間平市公会堂で開催されることになった。今回の講座は農業経営の合理化と農業協同組合の運営について、北海道大学農学部教授、農学博士石黒忠篤氏を講師に迎えて行なわれるもので、農業経営の合理化と農業協同組合の運営について多くの参加者が期待されている。

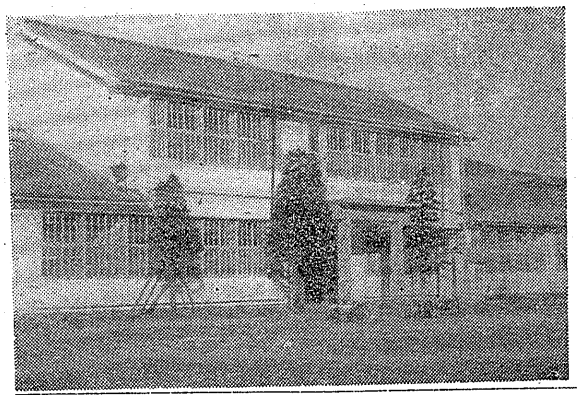
NHK平放送局では、来る十五日から二十日まで五日間、平公会堂から「農業実践大学講座」の公開放送を行なうことになった。講師は北海道大学農学部教授、農学博士石黒忠篤氏。

▽十五日午前九時「農業経営と農協運営について」▽十六日午前九時「新しい農業経営と協同組合運動について」▽十七日午後一時「最近の農業経営について」▽十八日午前九時「農業経営と農村指導の新技術」▽十九日午前九時「農業経営と農村指導の新技術」▽二十日午後一時「農業経営と農協運営について」

塙さんら24人表彰
四倉の永年勤続店員

四倉町役場と商工会では十一日午前九時から役場会議室で第一回町内商店の優良従業員（永年勤続者）の表彰式を行う。当日は鈴木町長賞十人、新興商工会長賞十四人計二十四人に感謝状が贈られる永年勤続の表彰者は次の通り。

◆町長賞▽三十二年、扇愛次郎（長谷川製材所勤務）▽二十一年、菊地金三郎（〃）▽二十二年、大和田セツ（海気館）▽十九年、鶴崎二郎（根本土建業）▽十五年、古市儀平（本多製菓店）▽八年、元持久男（浅草バン店）佐藤一郎（スズヤ電気商店）長谷川ラジオ店）◆商工会長賞▽十四年、金田定武（本多製菓店）丹野忠男（海気館）▽十二年佐藤吉元（福田材木店）▽九年矢島板三郎（新婚タクシー）▽八年、鈴木キヨ（山海荒）赤坂久子（海気館）海福助太郎（福島旅館）大和田正（日本屋菓子店）▽七年、渡辺一郎（大平酒店）鶴岡彰孝（平服装館）▽六年、鈴木二郎（谷源商店）西牧彰（資料提供）



昨年より五百人増
平市内の中校進学生

平市教育委員会がまとめた三十五年度の中学進学生は総数で千九百九十八人（男千三十九、女九百五十九）で昨年より約五百六十人増と最高記録になった。これにともなう学級数は十学級増えることになるが、小学校の減少などにより実質的には不足しない結果となる。このようにここ二、三年は小学入学児童に反比例して中学生徒数は多い傾向にある。各小学校から中学に進む見込は次の通り。

▼一小＝千二百七十四人▼二小＝三百三十五人▼三小＝二百七十六人▼四小＝九十七人▼五小＝百七十七人▼六小＝百人▼豊間小＝百七十人▼高久小＝八十七人▼夏井小＝七十九人▼草野小＝百五十八人▼赤井小＝二百五人。

立派な校舎完成
小川小十一日落成式

昨年八月から総工費九百五十万円を投じて建工してきた小川小学校（鈴木清一校長、在校生八百五十人）の新校舎は予定どおり工事がすすめられ、玄関の一部をのこして完成、十一日落成式を行うことになった。

式は児童から贈った〝お年玉付年賀はがき〟が晃那一等に当選、PTA会長、関係会長などに感謝状がおくられる。

湯山校長が一等
お年玉年賀はがき

平第二小学校の校長湯山啓二氏は児童から贈った〝お年玉付年賀はがき〟が晃那一等に当選、等は二人が当っている。

11日西ドイツの話
NHKローカル番組

NHK平放送局八日からの週間放送番組予定が次のとおり決った。放送はいずれも録音の時間で、午後四時四十分から五分までなお十日は婦人教室が午前七時二十分から三十五分までなお十分から三十五分まで放送される▼八日＝暗音楽「或る恋の物語」他、エルヴィン・ハレツ楽団他▼九日＝お話「平安楼」真鍋悦子▼十日＝婦人教室対談「至福生と就職」久乙長町大村組合中学校佐藤勝一、関き手真鍋悦子▼十日＝邦楽「謡唄」藤本三吉▼十一日＝農業会「西ドイツの炭坑で働いた人達」増子昭夫、踏根貴晃、聞き手猪狩勝己▼十二日＝診断由「恋のメトロプロムナード」他、北見和夫他▼十三日＝生徒の音楽めぐり、唱「とんび」他、子もりた、深興の時、玩具の兵隊、平南第四小学校生徒、太田明美、鈴木友子、太田厚、金吉真子、渡辺純、道佐秀美、福田幸佐子大倉明、根本博文、林秀子。

昨年より五百人増
平市内の中校進学生

平市教育委員会がまとめた三十五年度の中学進学生は総数で千九百九十八人（男千三十九、女九百五十九）で昨年より約五百六十人増と最高記録になった。これにともなう学級数は十学級増えることになるが、小学校の減少などにより実質的には不足しない結果となる。このようにここ二、三年は小学入学児童に反比例して中学生徒数は多い傾向にある。各小学校から中学に進む見込は次の通り。

▼一小＝千二百七十四人▼二小＝三百三十五人▼三小＝二百七十六人▼四小＝九十七人▼五小＝百七十七人▼六小＝百人▼豊間小＝百七十人▼高久小＝八十七人▼夏井小＝七十九人▼草野小＝百五十八人▼赤井小＝二百五人。

三小でプール陳情
PTA会（会長関口儀久氏）の代表が五日市役所を訪れ

プール施設防火用水並三十五年度予算で造ってほしいと陳情した。

成人病講演会
後六時から三和村中寺公民館でガン、血圧の成人病予防啓発会と映画会を開く。聴師は同所渡辺予防係員。

湯山校長が一等
お年玉年賀はがき

平第二小学校の校長湯山啓二氏は児童から贈った〝お年玉付年賀はがき〟が晃那一等に当選、等は二人が当っている。

塙さんら24人表彰
四倉の永年勤続店員

四倉町役場と商工会では十一日午前九時から役場会議室で第一回町内商店の優良従業員（永年勤続者）の表彰式を行う。当日は鈴木町長賞十人、新興商工会長賞十四人計二十四人に感謝状が贈られる永年勤続の表彰者は次の通り。

◆町長賞▽三十二年、扇愛次郎（長谷川製材所勤務）菊地金三郎（〃）▽二十二年、大和田セツ（海気館）▽十九年、鶴崎二郎（根本土建業）▽十五年、古市儀平（本多製菓店）▽八年、元持久男（浅草バン店）佐藤一郎（スズヤ電気商店）長谷川ラジオ店）◆商工会長賞▽十四年、金田定武（本多製菓店）丹野忠男（海気館）▽十二年佐藤吉元（福田材木店）▽九年矢島板三郎（新婚タクシー）▽八年、鈴木キヨ（山海荒）赤坂久子（海気館）海福助太郎（福島旅館）大和田正（日本屋菓子店）▽七年、渡辺一郎（大平酒店）鶴岡彰孝（平服装館）▽六年、鈴木二郎（谷源商店）西牧彰（資料提供）

三小でプール陳情
PTA会（会長関口儀久氏）の代表が五日市役所を訪れ

プール施設防火用水並三十五年度予算で造ってほしいと陳情した。

成人病講演会
後六時から三和村中寺公民館でガン、血圧の成人病予防啓発会と映画会を開く。聴師は同所渡辺予防係員。

11日西ドイツの話
NHKローカル番組

NHK平放送局八日からの週間放送番組予定が次のとおり決った。放送はいずれも録音の時間で、午後四時四十分から五分までなお十日は婦人教室が午前七時二十分から三十五分までなお十分から三十五分まで放送される▼八日＝暗音楽「或る恋の物語」他、エルヴィン・ハレツ楽団他▼九日＝お話「平安楼」真鍋悦子▼十日＝婦人教室対談「至福生と就職」久乙長町大村組合中学校佐藤勝一、聞き手真鍋悦子▼十日＝邦楽「謡唄」藤本三吉▼十一日＝農業会「西ドイツの炭坑で働いた人達」増子昭夫、踏根貴晃、聞き手猪狩勝己▼十二日＝診断由「恋のメトロプロムナード」他、北見和夫他▼十三日＝生徒の音楽めぐり、唱「とんび」他、子もりた、深興の時、玩具の兵隊、平南第四小学校生徒、太田明美、鈴木友子、太田厚、金吉真子、渡辺純、道佐秀美、福田幸佐子大倉明、根本博文、林秀子。

林野庁研究企画官小野洋太郎氏
四倉の農業三方一体の体験を語る▽平真井学官

▽同午後一時「米国の農業三方一体の体験を語る」平真井学官▽同午後三時「米国農業視察」と題し、

▽十八日午前九時「園芸の技術と経営について」東京教育大学教授、農学博士石黒忠篤氏▽同午後一時「今後の果樹園の経営について」県立園芸試験場長千石虎二氏▽十七日午前九時「今後の有畜農業博士山口弘一氏▽十九日午前九時「農業資料収集の新技術」農業講習試験場場長、生産部長小野盛司氏。

昨年より五百人増
平市内の中校進学生

平市教育委員会がまとめた三十五年度の中学進学生は総数で千九百九十八人（男千三十九、女九百五十九）で昨年より約五百六十人増と最高記録になった。これにともなう学級数は十学級増えることになるが、小学校の減少などにより実質的には不足しない結果となる。このようにここ二、三年は小学入学児童に反比例して中学生徒数は多い傾向にある。各小学校から中学に進む見込は次の通り。

▼一小＝千二百七十四人▼二小＝三百三十五人▼三小＝二百七十六人▼四小＝九十七人▼五小＝百七十七人▼六小＝百人▼豊間小＝百七十人▼高久小＝八十七人▼夏井小＝七十九人▼草野小＝百五十八人▼赤井小＝二百五人。

立派な校舎完成
小川小十一日落成式

昨年八月から総工費九百五十万円を投じて建工してきた小川小学校（鈴木清一校長、在校生八百五十人）の新校舎は予定どおり工事がすすめられ、玄関の一部をのこして完成、十一日落成式を行うことになった。

式は児童から贈った〝お年玉付年賀はがき〟が晃那一等に当選、PTA会長、関係会長などに感謝状がおくられる。

塙さんら24人表彰
四倉の永年勤続店員

四倉町役場と商工会では十一日午前九時から役場会議室で第一回町内商店の優良従業員（永年勤続者）の表彰式を行う。当日は鈴木町長賞十人、新興商工会長賞十四人計二十四人に感謝状が贈られる永年勤続の表彰者は次の通り。

◆町長賞▽三十二年、扇愛次郎（長谷川製材所勤務）菊地金三郎（〃）▽二十二年、大和田セツ（海気館）▽十九年、鶴崎二郎（根本土建業）▽十五年、古市儀平（本多製菓店）▽八年、元持久男（浅草バン店）佐藤一郎（スズヤ電気商店）長谷川ラジオ店）◆商工会長賞▽十四年、金田定武（本多製菓店）丹野忠男（海気館）▽十二年佐藤吉元（福田材木店）▽九年矢島板三郎（新婚タクシー）▽八年、鈴木キヨ（山海荒）赤坂久子（海気館）海福助太郎（福島旅館）大和田正（日本屋菓子店）▽七年、渡辺一郎（大平酒店）鶴岡彰孝（平服装館）▽六年、鈴木二郎（谷源商店）西牧彰（資料提供）

三小でプール陳情
PTA会（会長関口儀久氏）の代表が五日市役所を訪れ

プール施設防火用水並三十五年度予算で造ってほしいと陳情した。

成人病講演会
後六時から三和村中寺公民館でガン、血圧の成人病予防啓発会と映画会を開く。聴師は同所渡辺予防係員。

11日西ドイツの話
NHKローカル番組

NHK平放送局八日からの週間放送番組予定が次のとおり決った。放送はいずれも録音の時間で、午後四時四十分から五分までなお十日は婦人教室が午前七時二十分から三十五分までなお十分から三十五分まで放送される▼八日＝暗音楽「或る恋の物語」他、エルヴィン・ハレツ楽団他▼九日＝お話「平安楼」真鍋悦子▼十日＝婦人教室対談「至福生と就職」久乙長町大村組合中学校佐藤勝一、聞き手真鍋悦子▼十日＝邦楽「謡唄」藤本三吉▼十一日＝農業会「西ドイツの炭坑で働いた人達」増子昭夫、踏根貴晃、聞き手猪狩勝己▼十二日＝診断由「恋のメトロプロムナード」他、北見和夫他▼十三日＝生徒の音楽めぐり、唱「とんび」他、子もりた、深興の時、玩具の兵隊、平南第四小学校生徒、太田明美、鈴木友子、太田厚、金吉真子、渡辺純、道佐秀美、福田幸佐子大倉明、根本博文、林秀子。

林野庁研究企画官小野洋太郎氏
四倉の農業三方一体の体験を語る▽平真井学官

▽同午後一時「米国の農業三方一体の体験を語る」平真井学官▽同午後三時「米国農業視察」と題し、

▽十八日午前九時「園芸の技術と経営について」東京教育大学教授、農学博士石黒忠篤氏▽同午後一時「今後の果樹園の経営について」県立園芸試験場長千石虎二氏▽十七日午前九時「今後の有畜農業博士山口弘一氏▽十九日午前九時「農業資料収集の新技術」農業講習試験場場長、生産部長小野盛司氏。

湯山校長が一等
お年玉年賀はがき

平第二小学校の校長湯山啓二氏は児童から贈った〝お年玉付年賀はがき〟が晃那一等に当選、等は二人が当っている